

生涯
学習課

オリンピック金メダリストが指導

レベルアップ水泳教室

7月2日、レベルアップ水泳教室を西城温水プール「水夢」で開催しました。教室では、リオデジャネイロオリンピック金メダリストで、庄原市スポーツ大使の金藤理絵さんを講師に迎え、市内小学生45人が初級コースと中級コースに分かれ、指導を受けました。初級コースでは、クロールの形や息継ぎの方法を学び、中級コースでは、クロールに加え、平泳ぎの練習を行いました。金藤さんは指導の中で、「スポーツでも勉強でも、できるかできないかではなく、まずはやってみることが大切」とアドバイスしました。児童は「クロールの泳ぎ方や息継ぎの仕方がわかった!」「金藤さんのように泳げるようになった!」と話し、有意義な一日となったようでした。



浅いプールで初心者クロールの基本を指導



水中での平泳ぎの動きを解説

Camera Report カメラレポート

●市内のイベントやまちの話題をお届けします。行政管理課広報統計係 ☎0824-73-1159 / Fax0824-72-3322



高血圧予防の普及・啓発

口北郵便局 高血圧予防に協力・6/29～10/31 No.2

口北郵便局の皆さんが、高血圧予防を啓発するポロシャツを着て、業務を行っています。

このポロシャツは、市が市民全体の血圧を5パーセント下げることが目標に作成したもので、目指すべき血圧の数値やプロジェクト名が記されています。

このたび、口北郵便局がこの趣旨に賛同し、普及・啓発に協力してもらえることになりました。郵便局の皆さんは、ポロシャツを着用し、窓口業務の傍ら適切な量の塩分摂取を呼び掛けています。

口北郵便局の白根孝浩局長は「この事業と一緒に盛り上げたいという思いで始めた。高血圧予防のきっかけになればと思う」と話しました。



▲ポロシャツを着た口北郵便局の皆さん

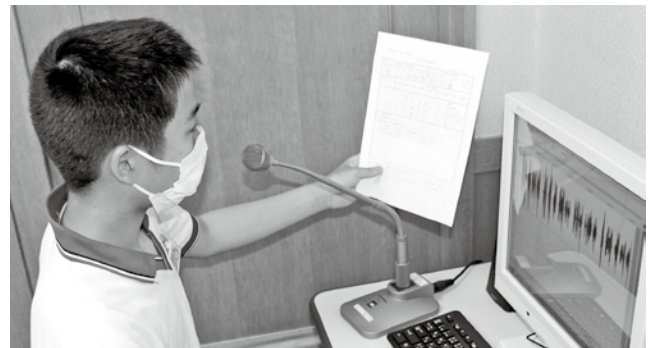
いろいろな業種の仕事を体験

総領中学校職場体験学習・7/4～7/8 No.1

総領中2年生が、町内の事業所などで職場体験学習を行い、10人が参加しました。

市役所総領支所には1人の生徒が職場体験に訪れ、住民告知放送の録音やシルバーリハビリ体操講座の補助、期日前投票に来た人への会場案内など、多くの仕事を体験しました。

生徒は「放送をしたり、イベントの看板を作ったり、たくさんの仕事に関わって、楽しかった。職場体験を通して、市役所には、たくさんの種類の仕事があることを知ることができた」と話しました。



▲告知放送の録音を行う生徒



防災意識の向上を目指して

消防団が非常持ち出し袋を配布・6/25

No.8

庄原市消防団西城方面隊第1分団平子班が、西城町平子地区で、防災グッズ入りの非常持ち出し袋を、各世帯に1つずつ配布しました。

この取り組みは、平子班が災害時の備えを整備し、地域全体の防災意識を向上させるため、独自に実施したものです。

非常用持ち出し袋には、タオルや防寒用アルミブランケット、非常用給水バッグなど非常時に最低限必要な防災グッズが入っています。

受け取った住民の人は「以前も河川の氾濫が起きて、避難したことがある。非常時のものがまとまっているのは、とてもありがたい」と話しました。



▲防災グッズ入りの非常持ち出し袋を手渡す消防団員

大雨や台風に備えて

庄原自治振興区 避難訓練・6/26

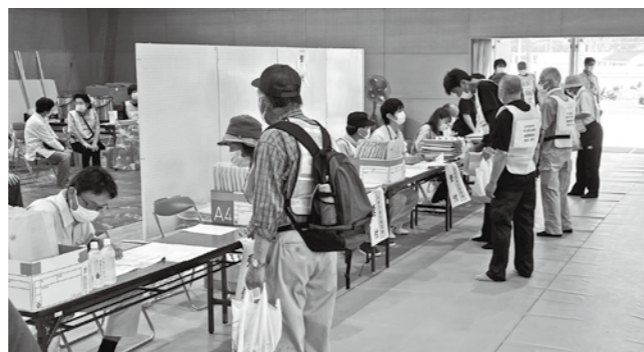
No.7

庄原自治振興区自主防災本部主催の避難訓練が、庄原小学校体育館で実施されました。

この訓練は、近年の集中豪雨や大型台風による避難の際、緊急時の役割の確認や、住民に避難を呼びかける体制の充実・強化を図ることを目的に行われました。

当日は、市から警戒レベル3（高齢者等避難）が発令されたことを想定し、地域住民が避難所や安全な場所へ避難したほか、自主防災本部役員と市職員が訪れる避難者の受け付けや、対応などの確認を行いました。

訓練参加者は「避難所の様子や避難ルートの確認ができてよかった」と話し、一人一人が防災について考える機会となりました。



▲避難所で受け付けをする参加者

「住宅デー」で修繕ボランティア

広島県建設労働組合による奉仕活動・6/26

No.4

広島県建設労働組合第12地域連合庄原が、6月25日の全国統一「住宅デー」に合わせて、市内の保育所や子育て支援センターなどを修繕する、技術奉仕活動を行いました。

東城町では7人の組合員が、田森保育所や東城子育て支援センターなどを訪問し、傷みが目立っていた木製の棚や看板、屋根を修理しました。

修理後の家具は、まるで新品のように生まれ変わり、児童もとても喜んでいました。

田森保育所の堀寛子所長は「組合員の皆さんのおかげで施設が充実している。毎年修繕していただき、感謝している」とうれしそうに話しました。



▲田森保育所で修繕を行う組合員の皆さん

日本代表選手の技を体験

庄原合同練習会・7/2

No.3

和道流空手道庄原スポーツ少年団が、県内の小・中学生を対象に合同練習会を開催し、約250人が参加しました。この練習会は、日本代表選手の技術に触れるとともに、各道場同士の交流を深めることを目的に開催されました。当日は、全日本選手権で2連覇を達成している崎山優成選手を講師に迎え、練習前に行うストレッチや、組手での突き・足の動きなど、約3時間かけて入念な指導が行われました。

最後には崎山選手の組手の試合が行われ、参加者は、「崎山選手の突きや蹴りの間合いの取り方がうまく、スピードも速くて驚いた」と話し、日本代表選手の動きに目を輝かせました。



▲突きの説明をする崎山選手（写真右）

3年ぶりの開催

比和まるごと家族「たなばたまつり」・7/7

No.10

比和まるごと家族「たなばたまつり」が、3年ぶりに比和自治振興センターで開催されました。

このイベントは、たなばたまつり実行委員会が主催し、比和地域の子どもから大人まで、まるで家族のようにつながりを持ち、支えあうための交流の場として、開催されました。

当日は、「やっと会えたね」をテーマに、比和保育所園児による合唱や、あづま太鼓などが披露され、会場は多くの人でにぎわいました。

主催者は、「多様な世代に地域交流の場として関わってもらっている。地域づくりのためにも、こういった集まりの場を大切にしていきたい」と話しました。



▲ステージイベントであづま太鼓を披露

遺跡群の魅力を見.

上帝釈 新緑!ウォーク・6/18

No.9

帝釈峡遺跡群発掘60周年を記念し、帝釈地域の遺跡を巡るイベント「上帝釈 新緑!ウォーク」が開催され、21人が参加しました。

これは同地域から発掘された各遺跡の意義や、当時の文化などを、多くの人に知ってもらうため開催したもので、当日は帝釈峡ガイド会の山崎元さんと佐古辰巳さんが、遺跡の歴史について解説を行い、同地域で最初に発見された「帝釈峡馬渡遺跡」や、国指定の史跡「寄倉岩陰遺跡」などの特徴について説明しました。

また初夏の気持ちのよい晴れの中、参加者は帝釈峡の遺跡とともに新緑の風景を楽しんでいました。

参加者は「帝釈の魅力が改めて感じる事ができた」と、満足そうに話しました。



▲寄倉岩陰遺跡で説明を受ける参加者

美しい音色がよみがえる!

ピアノお披露目コンサート・7/2

No.6

下高自治振興区が、ピアノお披露目コンサートを開催し、約70人が参加しました。

これは旧下高野山小学校で、約20年間眠っていたピアノを復活させ、地域を盛り上げようとの思いから企画されました。

当日は、町内の児童6人の演奏と、口和町在住のピアノ講師の児玉麻由さん・娘の杏美さんによるピアノとヴァイオリンの演奏が行われ、会場は美しい音色に包まれました。

企画した下高自治振興区の落合薫さんは「このピアノを活用して、子どもたちの発表の場や、地域の人が音楽に触れる機会をつくってほしい」と話しました。



▲コンサートを楽しむ参加者

芸備線・木次線をPR

宍道駅停車5周年イベント・6/23

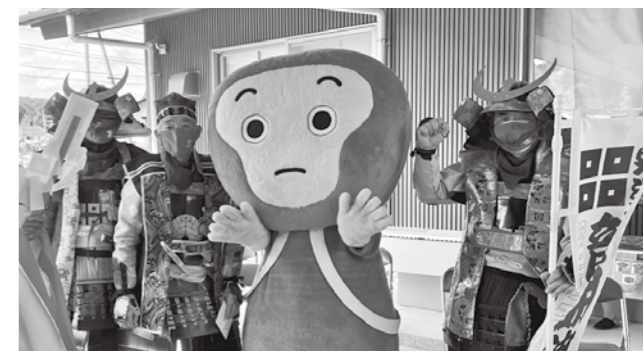
No.5

西城町観光協会が、島根県の宍道駅で芸備線・木次線のPR活動を行いました。

備後落合駅と宍道駅は、木次線とつながっており、西城観光協会と松江観光協会宍道支部は、お互いの沿線を盛り上げていくため、協力してさまざまなイベントを開催しています。

今回はJR西日本の豪華寝台列車「トワイライトエクスプレス瑞風」の宍道駅停車5周年を記念したイベント「111回目のお出迎え!」に参加しました。

イベントでは宍道駅にヒバゴンが招待され、宍道駅を中心に活動している宍道武者隊と一緒に列車を出迎え、イベント会場を盛り上げました。



▲ヒバゴンと宍道武者隊